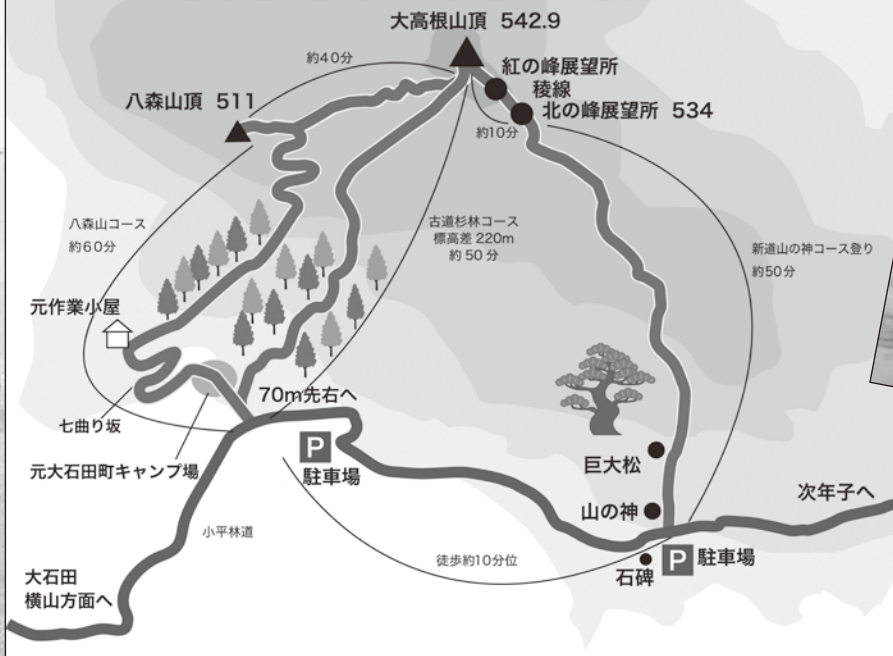


登ってみよう大高根山

大高根山登山道案内図



大高根山の会では新たな登山道の整備に合わせて、登山道案内パンフレットを作成し、各登山口に設置しています。



やまがた百名山 大高根山に登ろう

大高根山頂（542.9メートル）からの眺望。最上川や大石田の町並を一望できる眺望のよさも魅力のひとつです。

3つの登山道を紹介します

①新道山の神コース（頂上まで約50分）

眺望のよい北の峰や巨大松を見ることが出来るコースです。登山口近くには、登山の無事を祈る山の神の祠がたたずんでいます。

②古道杉林コース（頂上まで約50分）

杉林の中を、まっすぐに頂上を目指すコースです。途中には炭焼きで使われたくぼ地などがあり、古くから利用されてきた道であることが分かります。

③八森山コース（頂上まで約1時間30分）

今年新たに整備されたコースで、3つの登山道のうち最長です。途中岩場もあり、アップダウンを繰り返すため、ほかの2つの登山道に比べると登山の難易度は高くなりますが、杉林や雑木林、赤松の群生など大高根山の様々な表情を見ることが出来ます。

コースの途中に、八森山（標高511メートル）への道も整備されています。



毎年開催されている「町民登山」。今年は約40名の方が参加し、山頂を目指しました。

山形県は、日本百名山のうち6座が位置する国内屈指の山岳県です。平成28年に、8月11日が「山の日」に制定されたことをきっかけに、県では「やまがた百名山」を選定しています。

やまがた百名山には、大石田町と村山市にまたがる「大高根山」も選定されています。これは古くから地域の人々に愛されてきた山であるとともに、地域住民の活動により景観や山を楽しめる環境が保たれていることが評価されたものです。

古くから町民に親しまれ、登山環境が大切に守られている大高根山に登ってみませんか。



←八森山頂からの眺望



←山の神の祠

「大高根山の会」による保全活動

より多くの方に山に親しんでもらうと、町民有志が立ち上げた「大高根山の会」（遠藤廣吉代表）は、10年ほど前から荒れていた登山道を整備し、登山道の案内図や標柱の設置など地道な活動を続けています。また、毎年恒例となった町民登山も企画し、多くの町民に大高根山の魅力を伝えていきます。さらに、会ではこれまで整備してきた2つの登山道に加えて、今年新たに3つ目の登山道を整備しました。



大高根山の会のメンバーは、危険な箇所へのロープの設置や下草刈りなどの整備を続けています。

町立図書館の登山関連書籍もご活用ください

町立図書館には、やまがた百名山などのルートを紹介した本や、これから登山を始めようという方むけの本などがありますのでぜひご活用ください。

